

かけがえのないあなただから

「10分のできる不祥事予防研修」
校内倫理委員会や職員会議のはじめ等にご活用ください。

不祥事は時代によって変化する？

大正

昭和

平成

令和^{れいわ}

その行為が不祥事と捉えられるかどうかは、その時代や社会情勢によって変化する場合があります。「昔から行っている」という感覚で漫然としていると、思わぬところで子供たちを傷つけ、許されない行為として非難を受けてしまうかもしれません。

普段の何気ない会話から…。あなたはどう感じますか？

- ・ 昔は先生も子供をあだ名で呼んでいたこともあったよね。
- ・ 男のくせにめそめそするな！ 女の子なんだから行儀よくしなさい。
- ・ いうこときかない子供にはガツンと怒鳴ってやらないとな。言ってもきかないなら力づくでもきちんとさせないと。自分も学生の頃は部活の顧問の先生からビシバシ指導を受けていたよ。私は当時の先生には感謝しているけど。
- ・ 体の痛みを訴えている生徒にはマッサージしてあげているよ。男女問わず生徒とのコミュニケーションを図るためにスキンシップも必要だと思うよ。
- ・ 学級だよりだから外部に出ないし、ネット上のイラストをコピーして使っても問題ないよね。
- ・ 友達にいじめ行為をしてしまった児童の保護者から「直接謝罪したいから相手の子の連絡先を教えてほしい」と頼まれた。悪用するわけではないから、許可がなくても相手の連絡先を教えるても問題ないよね。

皆さんの身近なところで「昔はあまり気にしていなかったけれど、これって今の時代許されない事だよね。」というものにはどんなものがありますか？

世の中は、あらゆる分野において昔とは比べ物にならないくらい変化しています。そんな中「昔は良かったね～」とばかりは言ってもらえません。私たちは『教育のプロ』として誇りを持ち、その時代に応じた指導方法やモラル・マナーを磨き続ける必要があります。かつて私たちが先生や先輩を見つめていたように、今、子供たちは私たちが手本として見ているのですから。

